

<p>項目</p>	<p>書名 Columbus 21 English Course 38 光村図書</p>
<p>教育基本法、学校教育法の下、中学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の目標に準拠した学習目標や学習の具体的な内容、培うべき資質や能力を明示している。 ○日常表現や実際の使用場面・目的に応じた英語を学ぶことで、グローバル時代を生きる生徒たちが英語のコミュニケーション能力をバランスよく身に付けられるようになっている。 ○日本の伝統文化の理解から国際理解につながる幅広い題材を取り上げ、世界とつながるための受信力と世界に飛び立つ発信力を育成する工夫がされている。
<p>特色</p>	<p>＜基礎的・基本的な知識・技能を習得する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本となる Unit は、本文と Try It!、You Can Do It! で構成され、基本知識を習得しながら活用するための練習をすることができる。 ○Unit 間には、適宜まとめと練習のための教材が配置されており、スパイラル的に基本知識の確認ができるようにしている。さらに各学年に3つの Small Goal があり、学期毎の達成目標を示している。 <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Unit のまとめの You Can Do It! では、実際の使用場面を想定した言語活動を通して、Unit の到達目標を達成できるようになっている。 ○付録「CLIL 英語で学び、考えよう」では、家庭、社会など他教科の内容の一部を英語で学習することで“英語で学ぶ”体験ができる。 <p>＜主体的に学習に取り組む態度を養う工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○付録 Your Coach では、進度に応じた学習方法の具体例や、英語学習の目的意識を喚起するための解説が掲載されており、モチベーションを保ちながら自律的に学習を継続できるよう配慮している。 ○各 Unit の扉には、到達目標が明示され、題材への関心を高める設問も設けられている。 <p>＜外国語を通じて、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力を育成する工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Try It! を設定し、基本文を4技能のタスクを行いながら定着するようになっている。 ○Go For It! と Let's Read では、自己表現活動と、まとまった分量の英語を読む力を養うことができる。
<p>資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさや配置、イラスト等構成されている。新出単語は本文横に配置。 ○巻頭には英語のメッセージとその内容に関わる写真、本文関連写真がある。文法・文構造の理解のために、各学年の巻末付録に英語のしくみを掲載。イラストを多用し、また必要に応じて関連する文法事項を横断的に扱い、知識を統合できるように配慮されている。
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○1 学年では年間を通してブロック体を使用されている。2・3 学年では Skit Time, Go for It! でブロック体を使用され、それ以外では活字体が使用されている。また、各学区年共通して、日記やスピーチ、手紙文では手書き風の字体を使用。1 学年で各単語にアクセント付記、2・3 学年で発音記号が紫色で併記。また発音記号を使用した音の分類がある。
<p>総括</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な場面から世界に広がるトピックまで、登場人物の成長を通して、自然な英語に触れながら、生きた言葉の使い方が学べるようになっている。対話文だけでなく、メール、インターネットなど実際によくある場面を設定しているほか、震災や防災に関する題材を扱っており、幅広い教育への配慮がされている。